



かみさと

# 議会だより

平成25年12月

# No. 61

発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429

## 神保原駅南土地区画整理事業

## 竣工記念碑除幕式



■平成25年10月7日(月)神保原駅南広場において、児玉都市計画事業神保原駅南土地区画整理事業竣工記念碑除幕式が行われました。本事業は、昭和59年3月に事業計画決定されてから、約29年かけて本年1月に竣工となりました。



上里町マスコットキャラクター  
**こむぎっち**

### もくじ

9月定例会議案等の審議状況	2~4
一般質問	5~10
委員会のうごき	11~13
議員研修、議会日誌等	14





# 9月定例会

9月2日～24日

■平成24年度一般会計、特別会計、水道事業会計の

決算を認定

■図書館・郷土資料館設置及び管理条例の一部を改正

■小中学校空調機設置工事の契約を締結

9月定例会は、9月2日に開会され、議員6名の一般質問と平成24年度決算認定を中心とする町長提出議案25件、請願、陳情、意見書を審議して24日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

### 条例等関係

◎**条例の一部を改正する条例について**

○地方税法の一部改正に伴い、金融所得課税関係等について改正するものです。  
※審議結果 原案可決

◎**国民健康保険条例の一部を改正する条例について**

○地方税法の一部改正に伴い、金融所得課税関係等について改正するものです。  
※審議結果 原案可決

◎**図書館設置及び管理条例及び郷土資料館設置及び管理条例の一部を改正する条例について**

○住民サービスの向上及び経

費削減のため、図書館及び郷土資料館(展示業務等を除く)に指定管理者制度を導入するものです。  
※審議結果 原案可決

◎**条例の左横書き化に関する条例について**

○現在、横書きが主流である一般の公文書との整合性を図り、事務の効率化を進めるため、町条例を一括して左横書きに改めるものです。  
※審議結果 原案可決

◎**本庄上里学校給食組合規約の変更について**

○本庄市における住居表示に伴い、本庄上里学校給食組合規約を変更することについて協議するものです。

### 人事関係

◎**教育委員会委員の任命について**

○委員である齊藤玲子氏が、平成25年9月30日をもって任期満了となるため、後任に大字七本木の川浦計男氏を任命するものです。  
※審議結果 同意

◎**固定資産評価審査委員会員の選任について**

○委員である立石洋行氏が、平成25年9月30日をもって任期満了となるため、後任に大字七本木の青野英雄氏を選任するものです。  
※審議結果 同意

### 契約関係

◎**工事請負契約の変更について**

○長幡小学校体育館改修工事の変更を行うものです。

- ・当初の契約金額 1億353万円
- ・変更による増額 157万5千円
- ・変更後の契約金額 1億515万5千円

※審議結果 原案可決

◎工事請負契約の変更について

○七本木小学校体育館改修工事の変更を行うものです。

- ・当初の契約金額 6977万2千5百円
- ・変更による増額 145万9千5百円

・変更後の契約金額 7123万2千円

※審議結果 原案可決

◎工事請負契約の締結について

○神保原小学校・上里東小学校空調機設置工事を契約するものです。

- ・契約の目的 平成24年度(繰越) 上里町立神保原小学校・上里東小学校空調機設置工事
- ・契約金額 7716万4千5百円

・契約の相手 (株)高橋設備  
・契約の方法 一般競争入札

※審議結果 原案可決

◎工事請負契約の締結について

○賀美小学校・上里北中学校

空調機設置工事を契約するものです。

- ・契約の目的 平成24年度(繰越) 上里町立賀美小学校・上里北中学校空調機設置工事
- ・契約金額 8190万円

・契約の相手 (株)清水アネット

・契約の方法 一般競争入札

※審議結果 原案可決

◎工事請負契約の締結について

○長幡小学校・七本木小学校空調機設置工事を契約するものです。

- ・契約の目的 平成24年度(繰越) 上里町立長幡小学校・七本木小学校空調機設置工事
- ・契約金額 5544万円

・契約の相手 藤田エンジニアリング(株)

※審議結果 原案可決

補正予算関係

◎25年度一般会計補正予算

○歳入歳出それぞれ2億4581万円を追加し、予算総額

を歳入歳出それぞれ84億3104万8千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・一般管理給与費 △5601万5千円
- ・防犯まちづくり事業 148万3千円
- ・国民健康保険特別会計繰出金 △8417万9千円

・七本木・上里東・長幡児童館運営事業 141万3千円

・上里スマートインターチェンジ整備事業 137万2千円

・住宅管理事業 215万3千円

・公共下水道事業特別会計繰出金 238万8千円

・図書館運営事業 164万4千円

・財産管理事業 613万1千円

・災害対策事業 608万6千円

・財産管理事業 1億5005万5千円

・財政調整基金積立金 1億1510万円

徴収事業 375万1千円

隣保館運営事業 2320万3千円

介護保険事業 1038万円

上里サービスエリア周辺地区整備事業 1315万6千円

公園管理事業 282万6千円

駅北コミュニティ広場運営管理事業 552万5千円

古新田四ツ谷線整備事業 460万6千円

小学校管理運営事業 1220万円

体育施設管理運営事業 1415万9千円

※審議結果 原案可決

■この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、神保原駅南土地区画整理事業特別会計、公共下水道事業特別会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

請願・陳情の審査結果

件名	提出者	審査結果
建設技能者の石綿に係る健康被害の予防・救済に関し、国に意見書の提出を求める請願	埼玉土建一般労働組合 本庄支部 支部長 飯野 茂	採 択
上里町忍保グラウンド修繕等についての陳情	上里町ソフトボール協会 会長 櫻井 彪	採 択

請願・陳情関係





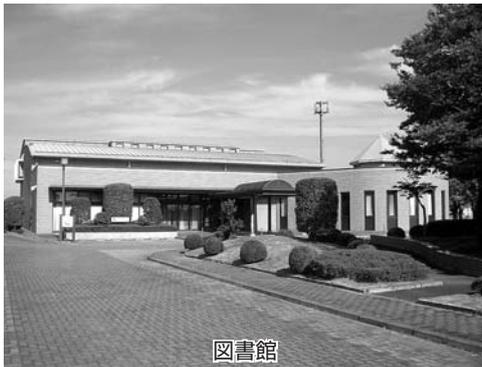
一般質問



議席番号 8番 新井 實

[質問事項]

1. 町立図書館の運営方法について
2. 小型家電リサイクル法への参加と回収について
3. 給食アレルギー対策について
4. デマンド交通の導入について
5. 上里サービスエリア周辺地区整備事業の進捗状況について
6. いじめ防止対策推進法に対する取り組みについて（紙面の都合により省略）
7. 体罰の再発防止策について（紙面の都合により省略）



図書館

1 町立図書館の運営方法について

(問) 上里町立図書館の運営における指定管理者制度の導入について伺います。

(答) 図書館も開館以来、はや20年を経過しようとしておりますが、利用者から祝日の開館や開館時間の延長などの要望がございます。そうした要望を受け、9月の定例議会で図書館の設置及び管理条例の一部改正をさせていただき、指定管理者制度の導入により一層のサービス向上を図ることといたしましたところであり、今後の募集・選定などの事務手続きを進め、円滑な導入、移行を来年度から導入できるよう準備を進めていくところであります。

2 小型家電リサイクル法への参加と回収について

(問) 今年4月1日に施行された「小型家電リサイクル法」への上里町の参加と回収方法について伺います。

(答) 児玉郡市では、一般廃棄物の処理を広域市町村圏組合で行っていますので、広域内で統一した方法で実施していくように調整を進めております。回収予定機器は、サイズの小さい携帯電話やPHSなど17種類を回収する方向であり、回収方法については、安全を考慮して役場庁舎内に回収ボックスを設置して回収する予定になっております。

3 給食アレルギー対策について

(問) 給食アレルギー対策における再発防止の具体策の推進について伺います。

(答) 教育委員会では、6月の校長会において、各学校に対し学校給食における食物アレルギーに対応した教職員の緊急対応マニュアルの見直しを指示し、全小中学校でマニュアルの見直しが完了しております。マニュアルには、アレルギー発生時に児童・生徒にどの

ような症状があらわれるのかや、エピペンをどのタイミングで接種するかについても明記してございます。

※エピペンとは、食物アレルギー等によるアナフィラキシー反応を緩和する補助治療剤です。

4 デマンド交通の導入について

(問) 利用客の少ない町内循環バスの不振路線の代替として「デマンド交通」の導入について伺います。

(答) 上里町の町内循環バスは、町内6路線あり、業者に業務委託し3台のバスで各路線1日4回周回し、平成25年4月からの乗降状況になりますが、利用者は1日平均50人で、1ヶ月あたり6路線合計して約1100人となりました。平成24年度から一部コースを見直した結果、平成24年度の総利用者数は、11835人と、前年対比で23%増となりました。また、1ヶ月あたりの経費は、業務委託料が110万円、1日あたり換算すると約36000円程度となります。町内循環バスの代替としてデマンド交通の導入についてありますが、ランニングコストの面で言

5 上里サービスエリア周辺地区整備事業の進捗状況について

(問) 上里サービスエリア周辺地区整備事業の産業団地画における造成工事及び企業公募・企業誘致の進捗状況について伺います。

(答) 上り線側の産業団地分譲状況ですが、3区画については、土地売買予約契約を去る4月に2社と締結し、残り1区画については、引き続き企業誘致活動に努めていくところであります。なお、下り線側については、開発許可上の変更協議手続きについて、熊谷建築安全センターと調整を今、行っているところであります。下り線側の公募については、各種事務手続きを早期に終了し、できるだけ早い時期に具体的な公募スケジュールを作成していきたいと考えております。

えば、多くの利用者がいなければ採算が合わないことになり、財政面では、今の町内循環バスの約3倍程度の負担となる可能性もあり、費用対効果も望めない状況も考えられます。町内循環バスの老朽化もございまして、平成26年度中には、町の方向性を出していきたいと考えております。

一般質問



議席番号  
1番 植原育雄

[質問事項]

1. 共助の実践について
2. 成年後見制度と市民後見人について
3. 地方公務員の雇用と年金の接続について

1 共助の実践について

**(問)** 地域社会における人と人とのつながりが希薄になっております。町の「共助」の取り組みについて伺います。

**(答)** 平成23年度から、町社会福祉協議会ではボランティアの方による高齢者等生活応援隊により日常生活の中で、調理、買い物代行、部屋の掃除、庭の手入れ等実施しています。

高齢者いきいき課では、地域単位で高齢者を見守る仕組みが必要なことから、認知症サポーター養成講座を実施しており、わが町防犯活動隊や放課後子ども教室等は、各関係課に係るボランティアの方により実施しています。

**(問)** 県は地域で共に支え合う「共助」の実践をしてもらう為、「新現役宣言・共助、虎の巻」を作成し市町村に配布していますが、県の事例集の活用方法について伺います。  
**(答)** 県の事例集には、様々な取り組み事例が紹介されていますが、導入可能なものがあれば調査研究をして参ります。

**(問)** 共助の組織はどうなっているのか、町の窓口はどこか、わかりづらいのが現状です。組織の充実と町民へのPRについて伺います。

**(答)** 共助に対する相談等の総合窓口は、総合政策課で個別の事業等は、各担当課で対応しています。

組織の充実には、地域コミュニティが大切であることから、町コミュニティ協議会が、ボランティア団体の活動などは、町社会福祉協議会を中心に活動しています。

町民へのPRについては、町の広報紙やホームページ、8月に開設したフェイスブック等で紹介しています。



2 成年後見制度と市民後見人について

**(問)** 成年後見制度に対する町の取り組みと町民へのPRについて伺います。

**(答)** 町長申し立てを行う場合、町では成年後見制度利用支援事業実施要綱や成年後見制度利用支援報酬助成要領にて対応しており、町民へのPRは、パンフレットの配布や町の広報紙等で周知しております。

**(問)** 市民後見人に対する町の考え方と取り組みについて伺います。

**(答)** 市民後見人の仕事は、専門職後見人に比べて比較的問題の少ないケースを受任するとはいえ、法律的・社会的に重い責任を負います。市民後見人の養成は、市町村に努力義務が課せられており重要な施策と考えられています。

**(問)** 市民後見人の養成と町民へのPRについて伺います。

**(答)** 市民後見人の養成は、先進的な自治体の事例を参考に、関係機関と連携を図り研究して参ります。

3 地方公務員の雇用と年金の接続について

**(問)** 定年を段階的に65歳に引き上げるための国家公務員法等の改正や高齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部を改正する法律等を踏まえた町の実態について伺います。

**(答)** 定年職員の再任用制度は、公的年金の支給開始年齢に達するまでの間、希望する職員を再任用するものです。

民間事業者も平成24年4月1日から高齢者雇用安定法が施行され再任用同様の継続雇用制度が導入されています。

**(問)** 町の対応とその影響について伺います。

**(答)** 再任用職員と新採用職員のバランスをとりながら、平準的な採用など適正な定員管理に努め、将来にわたる安定した行政運営と住民への行政ニーズに適切に対応していきたいと考えています。

# 一般質問



議席番号  
2番 山下 博一

## [質問事項]

1. 道路網の充実について
2. インターネットメールとWeb技術の利活用について
3. 子どもの貧困対策について
4. 健康マイレージ事業の導入について
5. 小型家電リサイクル制度の導入について

### 1 道路網の充実について

(問) 国道17号本庄道路の工事進捗状況について伺います。

(答) 計画区間13.1kmのうち、本庄市沼和田の国道462号線から、高崎市新町までの区間で25年度は、新神流川橋の橋脚3基の工事が発注され工事に着手します。新神流川橋梁の完成に6年を要するそうです。

(問) 都市計画道路古新田四ツ谷線の開通時期について伺います。

(答) 現在、道路構造の工事は完成し、残る工事は区画線・道路標識の設置工事で10月から実施します。供用開始は、今年12月中旬を目指しています。

(問) 県道上里鬼石(神保原本郷)線の工業団地まで延伸する道路調査について伺います。

(答) 工業団地まで延伸する道路について、9月11日に測量調査に伴う土地立ち入り、計画概要等を地元

区長等に説明会を行いました。26年1月頃に設計案ができた段階で、地権者等に説明会を予定しています。本事業は、社会資本整備交付金を利用の予定で、5〜6年を見込んでいます。



吉新田四ツ谷線

ト環境の整備に向け検討してまいります。

### 3 子どもの貧困対策について

(問) 子どもの貧困の解消・子どもの教育の機会均等、貧困の連鎖の防止など子どもの貧困対策への取り組みについて伺います。

(答・町長) 町の貧困の現状について、実態調査は国や県の子どもの貧困対策の計画を勘案して検討します。母子自立支援制度について福祉事務所と連携して対応しています。

(答・教育長) 教育の機会均等については、要保護等児童生徒就学援助制度や奨学資金貸付制度を行っています。学校現場に配置しています。さわやか相談員等の協力のもと就学支援など助言も行います。

### 4 健康マイレージ事業の導入について

(問) 健康診断や運動教室(こ

むぎっち体操)へ参加すると、特典のあるポイントを付与し、楽しみながら健康への関心を深めてもらい、膨らむ一方の医療費や介護費用を抑える啓発活動について伺います。

(答) 25年度より、健診の受診率向上を目的に「上里いきいきスタンプラリー事業」を開始し、今後もPR活動をを行います。また、10月にデビューする「こむぎっち体操」や、元氣教室など介護予防事業などと協働し、全町的な上里町健康マイレージ事業が実現できると研究します。

### 5 小型家電リサイクル制度の導入について

(問) 町内公共施設に、使用済み小型家電回収ボックスを設置することについて伺います。

(答) 回収品の盗難など、安全面から、役場庁舎内の回収ボックス設置が進めま

# 一般質問



議席番号  
10番 香澤幸子

## [質問事項]

1. ゴミの減量化をめざして
2. 健康に暮らせる町づくり
3. 潤いのある町づくり

### 1 ゴミの減量化をめざして

**(問)** 30%～60%の紙・布類が混入していると町長も認められている可燃ゴミの分別項目を増やすこと、2013年4月施行の小型家電リサイクルの実施は、96品目全ての回収を行って、不燃ゴミを減量させ、その費用を資源ごみ回収費に回すこと、製造者責任は、ゴミの発生を抑える意味で重要です。昨年、町長が答弁された広域市町村圏での検討について伺います。

**(答)** 町が紙・布類を回収した場合、リサイクル活動団体の回収量に影響を及ぼすと同時に回収費用がかかります。また、小山川クリーンセンターには、保管場所がありません。

小型家電のリサイクルは、役場庁舎内に回収ボックス(15cm×20cm)を設置して回収します。大きな家電は、リクエスト収集や回収日を設けるなど、別な方法で検討中です。小型家電の回収実施で不燃ゴミが減量するまでには至らないと思いますが、将来的には、より多くの品目と回収を行う必要があり、効率的で安全な方法で実施したいと思っています。

ます。製造者の責任については、国や県などの調査時の要望事項として意見を上げたいと思います。

### 2 健康に暮らせる町づくり

**(問)** 東京都日の出町は「お年寄りに優しい3つの福祉施策」として、①75歳以上の医療費無料化、②75歳以上の人間ドック受診料の無料化、③健康教室の開催・高齢者向け各種スポーツの支援を実施しています。

上里町でも健康・スポーツ教室など色々な課で様々な企画をしていますが、参加が少ない現状です。年間の町の健康事業を全て掲載した、日の出町のような健康増進カレンダーを作成し、見通せるようにしてはどうですか。日本人の3大疾患の原因である高血圧や糖尿病を気軽にチェック出来るよう、血圧・血糖値測定器を公共施設に設置することについて伺います。

**(答)** 日の出町の健康増進カレンダーについては検討したいと思います。血圧は設置に向け再検討が必要と思います。血糖値測定器は針の処理などの問題もあり、公共施設への設置は望

ましくないと思います。しかし、血糖値が測れれば、非常に町民の皆さんも便利だと思いますので、少し研究させて頂きたいと思っています。

### 3 潤いのある町づくり

**(問)** 第4次上里町総合振興計画・後期基本計画では、『烏川・神流川総合運動公園や街区公園、及びその他の公園・緑地の整備を計画的に進めます』『街路樹などによる緑の帯を幾重にも形成し、緑のネットワーク化を図ります』とあります。

上里町には、大きな総合公園がありません。烏川・神流川総合運動公園計画を、サーブスエリア周辺地域の河川敷周辺から計画的に整備してはどうですか。

街路樹を総合計画のように増やすためには、既存の道路ではポケットパルク的な植樹を計画することで可能になると思いますが、考えを伺います。

**(答)** 上里町の公園は、住民の要望もあり運動公園が多いのが現状です。公園の要望は多くの町民の皆様から頂いています。しかし、

整備や維持管理の費用が必要であり、現時点では難しい状況です。スマートフォン・タブレットの開通後、積極的に推進が図れるよう利用台数や農村公園の整備状況を踏まえながら国と河川環境整備事業等について協議したいと思っています。

街路樹は、大気の浄化、温度上昇の緩和、道路空間に親しみと潤いを与える要素と、枝の剪定や落ち葉、害虫駆除等の苦情も多く、維持管理費用も必要です。道路沿いに街路樹を植える計画はありませんが、スポット的な植樹については、地域の方々のご意見を伺いながら検討してまいりたいと思います。



公園で遊ぶ子ども

一般質問



議席番号  
6番 中島美晴

[質問事項]

1. 防災・減災・災害に強いまちづくりについて
2. AEDの普及・啓発について
3. 骨髄移植ドナーに対する支援について

1 命と財産を守る防災・減災対策の推進について

(問) 町民体育祭やふれあいまつりなど大勢の参加者や出店が予定されている町主催・共催によるイベント会場での安全対策についてお伺いします。

(答) 広域消防本部からの指導とあわせ、ガスボンベや発電機を使う場合は、資格者や熟達者に十分な管理をされるとともに、取扱いについても、十分気をつけるよう周知徹底したいと考えています。

(問) より多くの町民が、参加しやすい参加体験型の防災訓練の実施について見解をお伺いします。

(答) 総合防災訓練の位置づけとして開催した防災フェスティバルは、一般住民の方も参加して放水体験、消火器訓練、担架体験を実施しました。

体が覚えるという意味で有益なことと思います。8月2日には、指定避難

所施設や町内施設の管理者・利用者を対象として338名が参加して、地震を想定した初期行動を行うシエイクアウト訓練を実施しました。できるところから実施してまいりたいと考えています。

(問) 災害時要援護者避難支援事業についてお伺いします。上里町では昨年、地域支え合いマップを作成しました。現在の登録推進の状況についてお伺いします。

(答) 現在の地域支え合いマップの登録者は、575名です。また、災害時要援護者登録兼避難支援個別計画登録者は、523名です。しかし、現在、支援者がいる要援護者は、377名で、146名の方が、まだ支援者が決まっておりません。対応としましては、地域において支援者を設定してもらうことです。また、広報等を使って、登録制度の周知も徹底していきたいと思えます。

2 AEDの普及・啓発について

(問) 普通救命(AED)講習の実施について、公共施設の利用者・利用団体への講習についてお伺いします。

(答) 町民体育館では毎年、体育協会やスポーツ少年団が訓練を行っています。また、本年度は、新設置の公民館でも、年度当初にAEDの講座を開催しました。



普通救命講習

3 骨髄移植ドナーに対する支援について

(問) 白血病や再生不良性貧血などの血液難病に苦しむ患

者への有効な治療法の一つが造血幹細胞移植です。しかし、せっかく骨髄バンクに登録され、HLA型が適合しても、最終的に骨髄提供まで至らないケースが4割ほどあります。その理由としては、仕事が休めないことや仕事を休んだ場合の休業補償がないなど、ドナーの負担が重いことが挙げられます。そこで、上里町も骨髄移植ドナーを支援するために、ドナー助成制度の創設を提言しますが、見解をお伺いします。

(答) ドナーの経済的な負担軽減対策や協力しやすい体制を整えることが、骨髄移植の推進には大きな要素であると認識しています。骨髄の提供ができる環境を整えるため、ドナーに対する助成制度等については、先進的に実施している自治体の助成内容を参考にしながら、骨髄移植ドナー支援事業の推進に向けて取り組んでまいりたいと思っております。

# 一般質問



議席番号  
5番 納谷 克俊

## [質問事項]

1. 企業誘致について
2. むし歯予防について
3. 上里ゴルフ場の今後について

### 1 企業誘致について

**(問)** 上里サービスエリア周辺地区整備事業における下り線側については条件が整い次第、公募を行うのでしょうか。また、業種は限らず雇用創出を見込める大企業に全体を一括売却するのでしょうか。

**(答)** 広く応募の参加機会をつくるため、公募を実施することが望ましいと考えています。

この規模の画地への企業誘致となると企業情報そのもの自体も少なく競合相手もありますので、製造業という指定を行うことが望ましいと思っております。

**(問)** 町ではSA周辺地区以外の企業誘致について、どのような構想があるのでしょうか。

**(答)** 工場閉鎖などによる跡地については、企業から相談があった物件については県企業立地課への情報提供や町の企業誘致活動の中で紹介しています。

企業立地状況や経済状況

を踏まえながら、総合振興計画に位置づけた工業系の土地利用ゾーンの具現化に向けた取り組みも必要になってくるのではないかと考えています。



上里SA周辺

### 2 むし歯予防について

**(問)** 小中学校におけるフッ化物洗口実施について一昨年12月定例会で質問しました。この間、町および教育委員会では、どのような検討がなされたのでしょうか。

**(答)** 神川町及び本庄市の取り組みの経緯や実施状況等を調査した結果、教育現

場や保護者の理解・協力が得られるかについては、フッ化物洗口の実情等について十分な説明を行うことで可能となることなどを確認しました。

取り組みに当たっては説明会等を開催し、不安や疑問をアンケート等により明らかにし、一つずつ解消しながら保護者等と一体となつて取り組むための準備を進めていきたいと思えます。

**(問)** 町では、「歯科口腔保健の推進に関する条例」の制定を検討されているのでしょうか。

**(答)** 基本的事項を勘案して、条例の制定を今後、検討していきたいと考えています。

### 3 上里ゴルフ場の今後について

**(問)** 町が地権者に支払う借地料から、町が(株)さいたまりパークフロントから受け取る

る使用料の差額を基金として積み立て、それを原資として民有地を買収するとの説明がありました。

現在まで、この計画はどのように進んでいるのでしょうか。

**(答)** 平成22年度に2542㎡の土地を買収し、民有地は現在47・9ヘクタールとなつています。

予定通り、来年度から地権者のご理解を得ながら買収を行っていききたいと考えています。

**(問)** 上里ゴルフ場の将来の運営形態について伺います。

**(答)** 10年間の管理許可後については、(株)さいたまりパークフロントに管理をしてもらいたいと考えており、今後、協議をしていくことになると考えています。しかし、今後のゴルフ人口の動向や経営収支の状況などから指定管理者などについても十分、調査研究していく必要があると考えております。

# 委員会のうごき

9月定例会で各常任委員会に付託となった、平成24年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算審査では、すべて認定すべきものと決定しました。

## 総務経済常任委員会

### ○付託された会計決算名

1. 平成24年度上里町一般会計決算
2. 平成24年度上里町国民健康保険特別会計決算
3. 平成24年度上里町神保原駅南土地区画整理事業特別会計決算
4. 平成24年度上里町公共下水道事業特別会計決算
5. 平成24年度上里町農業集落排水事業特別会計決算

### ○審査期間

9月6日から12日までの5日間

### ○審査対象の課別意見等概要(抜粋)

1. **総務課**
  - ・下水道終末処理場等用地として購入した土地の活用方法について、庁内が連携して検討するようお願いいたします。

### 2. **総合政策課**

- ・(仮称)上里スマートインターチェンジについては、工事担当課と連携を密にし、早期供用開始に向けて努力をお願いします。
- ・当面、厳しい財政状況は続くと考えられるため、将来リスクに対応する財政の健全化への取り組みを継続するようお願いいたします。

### 3. **税務課**

- ・法に基づき、督促・催告・財

産調査などを速やかに行い、滞納額の減少に努めるとともに、法に基づく執行停止、不納欠損処分も厳正に執行されるようお願いいたします。

- ・課税・収税それぞれ知識・経験が必要な事務が多く、県税OBを有効に利用し育成するなど、今後も滞納整理に努力をお願いいたします。



### 4. **まち整備環境課**

- ・5m以上の橋を点検し、すぐに修繕しなければならない橋はないが、安全通行のため、計画的な修繕をお願いします。
- ・雑草・悪臭・スズメバチの駆除などは、町民の生活に直接関係するため、迅速かつ適切に対応されるようお願いいたします。

### 5. **産業振興課**

- ・観光振興事業の一環として、「駅からハイキング」を招致し、町の知名度向上が図られたため、本事業の更なる発展を期待して

継続した事業が望まれます。

- ・農地の違法転用については、農業委員や職員の巡回、近隣からの通報により把握し、是正措置の通知をしているが、引き続き、その後の状況確認などは正対応をお願いします。

### 6. **下水道課**

- ・下水道への接続率向上のため、事業に対する理解と協力が必要になるため、説明会や相談会等を通じて接続促進を働きかけ、接続率向上に努力をお願いいたします。

### 7. **会計課**

- ・現金の取り扱いが多いことから、常に危険がつきまとうため、事務の効率化や事故を未然に防ぐ観点から、現金で取扱いをしている旅費等を口座振替に移行させる方策を講じるよう要請いたします。

### 8. **議会事務局**

- ・情報化が進む中で会議録の公開(閲覧)が早期にできる方法について、引き続き検討をお願いします。

## 文教厚生常任委員会

### ○付託された会計決算名

1. 平成24年度上里町一般会計決算
2. 平成24年度上里町国民健康保険特別会計決算
3. 平成24年度上里町介護保

### ○特別会計決算

4. 平成24年度上里町後期高齢者医療特別会計決算
5. 平成24年度上里町水道事業会計決算

### ○審査期間

9月6日から13日までの6日間

### ○審査対象の課別意見等概要(抜粋)

1. **町民福祉課**
  - ・町民生活に不可欠な戸籍・印鑑登録等の届出・証明交付事務が、正確・迅速に処理できるよう窓口体制を整備し、住民サービスの向上が図られるようお願いいたします。

### 2. **子育て共生課、児童館、保育園**

- ・保育需要が増加している中で、正規職員数に対し、臨時職員数が多いため、今後も職員体制の整備を図るとともに、就労形態の多様化に伴う住民の要望に 대응するようお願いいたします。
- ・住宅貸付資金については、公平性の観点から滞納者への適切な対応をして、更なる努力をお願いいたします。

### 3. **健康保険課・保健センター**

- ・今後も国民健康保険の健全な財政運営を図るため、給付と税の適正な賦課を検討していく必要があると思われまます。
- ・超高齢化社会を迎えるにあた



り、保健センターの果たす役割は、益々重要な問題として認識されつつあり、保健師等の適正な人員配置と処遇改善を考慮し、更なる保健衛生事業の充実をお願いします。

**4. 高齢者いきいき課・老人センター**

- ・介護保険制度は、高齢化の伸展に伴い、今後、要介護認定申請者が増えることが予想され、業務に関わる人員の強化、かつ円滑な事業運営の体制の確保が急務と考えられます。
- ・老人センターは、高齢者の憩いの場として快適に利用できるよう、施設の維持及び衛生管理について努力をお願いします。

**5. 学校教育課、学校建設室、学校教育指導室**

- ・奨学資金貸付事業は、未済金の回収に努力いただき、経済的

な理由による困難な世帯に対して、事業の充実を望みます。

- ・学校施設管理について、維持修繕工事等が多くなっているが、全体的な老朽化に配慮した施設整備を望みます。

**6. 生涯学習課、中央公民館**

- ・潤いと生きがいを持ち、心豊かな充実した人生を送れるよう、引き続き学習の機会の提供と支援に向けて、更なる努力をお願いします。
- ・町民体育館は、老朽化により雨漏り、設備の不具合等の問題が生じているため、計画的な修繕が必要であります。

**7. 図書館、郷土資料館**

- ・図書館は、小学校へ訪問して読み聞かせや本の紹介、図書の貸出し等、今後も継続的に推進するようお願いします。
- ・郷土資料館は、先人達が、残してくれた貴重な文化遺産を将来のために受け継いでいくためにも、適正な職員配置とともに後継者を育成していくことが課題であります。

**8. 水道課**

- ・漏水が頻繁に発生している箇所から順次更新し、老朽管の更新工事を計画的に進めることが必要であります。
- ・水道水の供給は、使用者からの料金で運営されており、未納者に対しては、停水などの措置を講じるようお願いいたします。

**総務経済常任委員会視察研修**

総務経済常任委員会の視察研修会が、10月24、25日の2日間に行われました。今回の視察は、地球温暖化などの環境問題に対応するため、地方自治体が行っている太陽光発電・水力発電等の再生エネルギー施設の取り組み事例を視察することを目的に実施しました。視察内容については次の通りです。

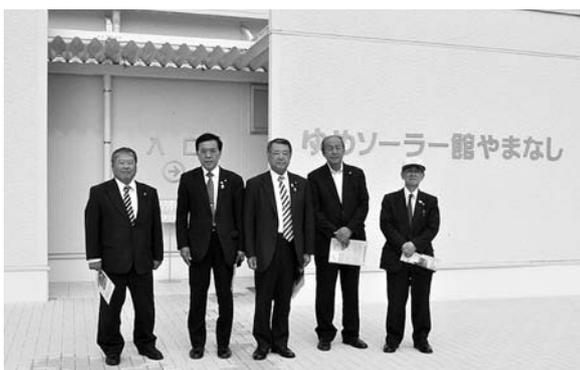
10月24日(木) 10時30分から、山梨県甲府市にある米倉山太陽光発電所を視察しました。この太陽光発電所は、山梨県と東京電力(株)が共同で建設した施設で、山梨県が用地を提供し、場内道路や敷地の整備を行い、東京電力(株)が太陽光発電所を建設して運転・保守管理を行います。この事業概要は、山梨県が全国有数の日射量を有していることから、地域特性を生かして再生可能エネルギーの導入普及に取り組んでいます。米倉山発電所はその中核をなすものであり、一般家庭3400軒分の年間使用電力量に相当する12000kw/h(年間)の電力を生み出しています。発電所の概要ですが、面積12.5ha出力10000kw、太陽光パネル運転開始は24年1月27日です。この発電所の特徴は、周囲が雑草に覆われるためヤギを飼育して雑草除去を試みましたが、ヤギは高い所に登る習性があり、太陽光パネルの上に乗ってしまい、

当初のもくろみ通りにかななかった事、また、クラスがパネルの上に物を落とす被害に合い、なかなか現実とは厳しく色々課題が有るよう思いました。

翌日、25日午前中、山梨県都留市にある山梨県立リニア見学センターを視察しました。

リニア見学センターは、山梨県リニア実験線の走行試験開始に合わせて開館した県立の施設です。最近、2020年東京五輪の開催にあわせて何かと話題になっています。このセンターでは、山梨県リニア実験線での走行試験の様子や、超電導リニアやリニア中央新幹線の展示物を見学しました。展望室からは、リニアを目の前で見る事ができ、雨模様の中、水しぶきをあげて疾走するリニアがアツと言う間に、通り過ぎていきました。

午後は、都留市の家中川水力市民発電所を視察しました。都留市の人口は、約33000人で、公立都留文科大学があり、学生数3000人で、市の人口の11人に1人が大学生になっています。家中川小水力市民発電所の建設は、平成18年度から、市役所を供給先とする木製下掛け水車の小水力発電機「元氣くん1号」を市民参加型で稼働させました。22年度「元氣君2号」、23年度は「らせん式水車」の「元氣君3号」が稼働しています。家中川は農業用



水としての活用があり、流量の変動が激しく発電量が大きく変動します。この事業の特徴は「つるのおんがえし債」という、住民参加型市場公募債を発行、多くの市民の協力を得ることができたそうです。最後に、今回、山梨県の自治体が、二酸化炭素排出削減に積極的に取り組んでいる、先進的な取り組みを視察することができました。また、都留市の場合、水力発電所の見学者が多く、見学の際、1人800円徴収しています。この事業に対する積極的な取り組みが伺えます。今後、再生エネルギー事業に取組む場合の参考になると思います。今回の視察で得た経験を今後の議会活動に十分生かしていきたいと思われました。

### 文教厚生常任委員会視察研修

文教厚生常任委員会では、11月7日(木)と8日(金)の2日間、新潟県三条市・柏崎市・十日町市への視察研修を実施しました。

1日目の11月7日(木)午後1時30分から三条市の「スマートウェルネスの推進と健康マイレージ制度の取組み」の視察を実施しました。

(1)「スマートウェルネスの推進について」は、高齢化社会を迎え、市民の誰もが生涯にわたって「明るく、楽しく、元氣よく」健康で幸せに暮らし続けるための基盤として、「自然と「歩く」を基本」に、健康を軸としたまちづくりを進めるものです。

その為の施策として、①健康づくり・②暮らしの場・③にぎわいの場・④生きがい就労の場など、市民全体での活動がされています。



(2)「健康マイレージ制度の取組みについて」は、市民の外出や交流のきっかけをつくり、生きがいづくりや健康増進につなげることを目的として、市民等がボランティア活動やイベントなどへ参加し、健康マイレージ手帳にポイントをためると抽選等で、賞品がもらえる制度です。

2日目は、11月8日(金)午前10時から柏崎市の「災害時要援護者支援について」視察を実施しました。中越沖地震以降、地域での災害対応の機運が高まり自主防災組織(町内会)の組織率が97%を超えました。

以前から「災害時要援護者の支援に対する取り組みが地域により異なっており、これまでの「要援護者名簿」は本人の同意を得ておらず平時の提供ができない状況でありました。『災害時要援護者支援制度』は、これらの改善と取り組み方針を明確化したものです。自主防災組織(町内会)、地域コミュニティ組織、民生委員、消防団へ平時から情報提供し、災害時要援護者の支援に活用しています。

上里町でも、これと同様な制度「地域支え合いマップ」が作成実施されていますが大きく相違しているところは、柏崎市においては年1回、地区持ち回りで「総合防災訓練を実施」していることです。上里町でも災害に備えて『防災訓練』を実施す

ることを強く要望しておきます。2日目の午後1時30分から十日町市の「小中一貫教育について」視察を実施しました。十日町市の学校教育は、「学力の向上」「不登校の減少」「特別支援教育の充実」という3つの大きな課題を抱えています。

十日町市の学校教育のめあてである『ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きること』の姿を実現するためには、今まで以上に小中学校間の連携を深めた教育活動が必要ということで、各中学校区の実情に即した一貫教育を目指しています。平成23年度から試行が始まり、

平成25年度は3年目の試行最終年度となります。今までの成果として中1ギャップ(小学生から中学生になった途端に、学習や生活になじめずに不登校となったり、いじめが増えたりするといった現象のこと)ですが減少傾向になったり、小中学校間と小学校間の職員の相互理解が深まったという事で、平成26年度から本格実施ということとです。

今回の視察研修地の規模や条件などには相違がありますが、その考え方は、上里町にとっても大変参考になるものでありました。

### 議会運営委員会視察研修

10月21日(月)、22日(火)の2日間、議会運営委員会の視察研修が行われました。

1日目は宮城県柴田郡大河原町議会において「議会のインターネットによる中継・録画配信」について、2日目は宮城県刈田郡蔵王町議会において「議会改革・議会基本条例」について、それぞれ視察研修を行いました。

大河原町議会では、平成14年度に行われた大河原町地域インターネット基盤施設整備事業に合わせて、議場内に議会映像用カメラとシステムを導入しました。

議について生中継と録画中継をおこなっています。

また、更なる改革として平成25年3月の予算特別委員会から配信を始めました。議会の情報をよりわかりやすく、広く住民の皆さんに伝えていく一つの方法として、議場に足を運ばない人にも、時間と場所を選ばず都合の良いときに議会の様子を伝えることの出来るツールとして、上里町議会においても早期に導入の検討を行う必要性を強く感じました。

蔵王町議会では、議会改革・活性化の一貫として議会基本条例の制定、通年議会の実施、議会報告会の開催など、様々な先進的な取り組みが行われています。



### 埼玉県町村 議会議員研修会

平成25年度埼玉県町村議会議員研修会が、10月18日(金)吉見町民会館「フレサ吉見」で開催されました。

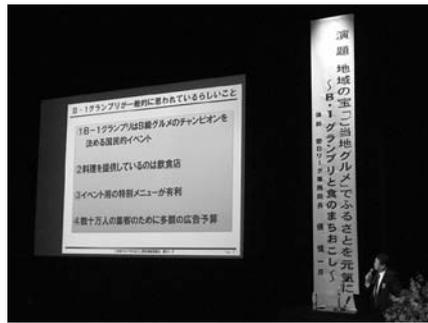
今回の講演は、一般社団法人ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会本部専務理事兼事務局長の俵 慎一氏をお迎えし、地域の宝「ご当地グルメ」でふるさとを元気に！〜B-1グランプリと食のまちおこし〜の演題で講演されました。

B-1グランプリ大会は、2005年の第1回八戸大会で出店団体は10団体、来場者数1万7千人であったが、去年2012年の第7回B-1グランプリ大会in北九州大会(10月20日〜21日)では、出店

団体63団体、来場者数61万人まで成長しているとのことでありました。わずか7年で来場者数が35倍にも伸びている原因は何か。それは、安くて旨くて地元の人に愛されている地元の日常的な料理を地域資源として改めて注目し、それらを活用してまちおこしを目指す団体が、年に一度、一同に会してまちおこしの活動をお披露目し、共同で町をPRする場がB-1グランプリであるとのこと。

みんなで力を合わせ、地方を元気にし「地方から日本を元気に」を合言葉に日本全国で様々な活動をしていることを強く述べられておりました。この講演を聞いて、地方の活性化・雇用の安定的な確保をするためには、各地域の人々や団体、自らがコミュニティを形成する人とのつながりを体感し、敬意と謙虚さ

を持って他団体とのコミュニケーションで臨み、中心市街地で開催し地元波及効果と地域通貨(金券)制を導入し、来訪者は、地元市民・県民が9割参加してくれる組織と運営団体を構築することが、最大のポイントであるということをお話いただいた。地域活性化へのさらなる努力を痛感した次第であります。



## 議会日誌

### 9 月

- 1日 関東大震災朝鮮人犠牲者慰霊祭
- 2日 9月定例会初日 開会、町長の行政報告
- 2日 全員協議会
- 4日 議案審議(条例等、25年度補正予算)
- 5日 議案審議(決算総括説明、意見書報告、委員会付託)
- 6日 常任委員会(24年度決算審査)
- 10日 常任委員会(24年度決算審査)
- 11日 常任委員会(24年度決算審査)
- 12日 常任委員会(24年度決算審査)
- 13日 常任委員会(24年度決算審査)
- 19日 一般質問
- 20日 一般質問
- 20日 全員協議会
- 21日 各中学校運動会
- 24日 定例会最終日(常任委員長決算審査報告・採決、請願等審議)
- 25日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 26日 区長会視察研修会
- 28日 各小学校運動会

### 10 月

- 2日 金婚式
- 6日 公民館まつり
- 7日 神保原駅南土地地区画整理事業竣工記念碑除幕式
- 13日 町民体育祭
- 18日 県町村議会議員研修会
- 18日 議会だより編集委員会
- 20日 公民館まつり
- 21日 議会運営委員会視察研修
- 24日 総務経常任委員会視察研修

### 11 月

- 2日 文化祭
- 3日 表彰式典
- 4日 ふれあいまつり
- 7日 文教厚生常任委員会視察研修
- 10日 消防団(署)特別点検
- 12日 郡議会議長会視察研修
- 17日 全国育樹祭
- 20日 議会だより編集委員会
- 22日 議会運営委員会
- 22日 議会懇話会総会
- 23日 国道17号本庄道路起工式
- 28日 上里中学校校舎棟竣工式
- 28日 全員協議会

## 12月定例会を傍聴しませんか

### ■手続きは簡単です■

定例会は、12月5日(木)に開会の予定です。  
なお、一般質問は5日(木)、6日(金)の2日間の予定です。

●お問い合わせは議会事務局へ

電話 35-1216 (直通)

3月定例会は、2月下旬に町ホームページ・フェイスブック等に掲載しますので、ご確認ください。

## 編集後記

昨年10月から、上里中学校校舎棟改築工事が着工され、約1年間の工事を経て11月に完成となりました。

生徒は、12月より新校舎で授業が開始されます。新校舎は、各教室に冷暖房が完備され、窓から降り注ぐ太陽光は明るく、環境面で大きく整備されました。

今後は、順次、特別教室棟・体育館等が新しく建設され、旧校舎等が解体される予定です。

旧校舎が建設されてから約50年、時の経つのは早く、旧校舎に思い出のある方は、少し名残惜しく感じられるのではないのでしょうか。

### 議会だより編集委員会

委員長	荒井 肇
副委員長	伊藤 裕
委員	新井 實
	納谷 克俊
	山下 博一
	植原 育雄

